

令和4年2月21日

環境経済委員会

産業部産業振興課

勤労福祉施設のあり方検討について

1 概要

令和3年9月8日の環境経済委員会において、勤労福祉施設(勤労会館と勤労青少年ホーム)のあり方検討を始めることを報告し、令和3年10月に利用者説明会を開催した。

あり方検討の背景となっている施設の現状及び説明会開催後に利用者から集約した意見等について報告を行う。

2 背景

- ・勤労会館と勤労青少年ホームは、ともに築35年以上が経過し、大規模な修繕が必要な状況となっている。
- ・令和2年度の包括外部監査において、勤労会館の利用状況を踏まえた上で、統廃合や複合化を検討するよう意見が出された。

3 利用者説明会概要

- ・勤労会館会場 10月22日
- ・勤労青少年ホーム会場 10月22日、25日
- ・市HP動画公開 10月26日～11月1日

4 利用者からの提出意見集約結果

別添資料のとおり

2021 年度(令和3年度)

勤労福祉施設のあり方検討について

**浜松市勤労会館
(Uホール)**



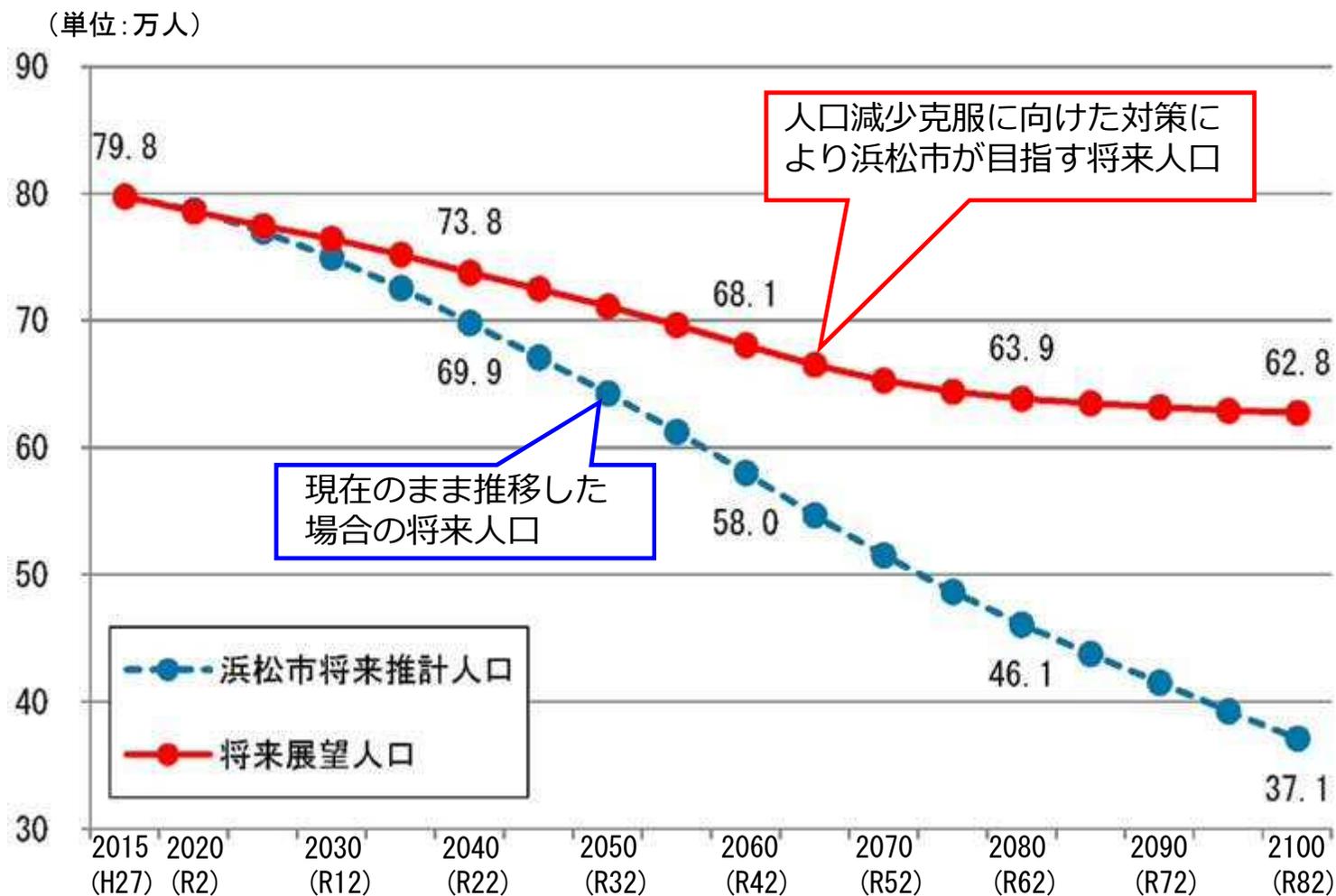
**浜松市立勤労青少年ホーム
(アイミティ浜松)**



浜松市産業部 産業振興課

2022 年 (令和 4 年) 2 月

将来の浜松市をとりまく環境① 人口減少社会への対応

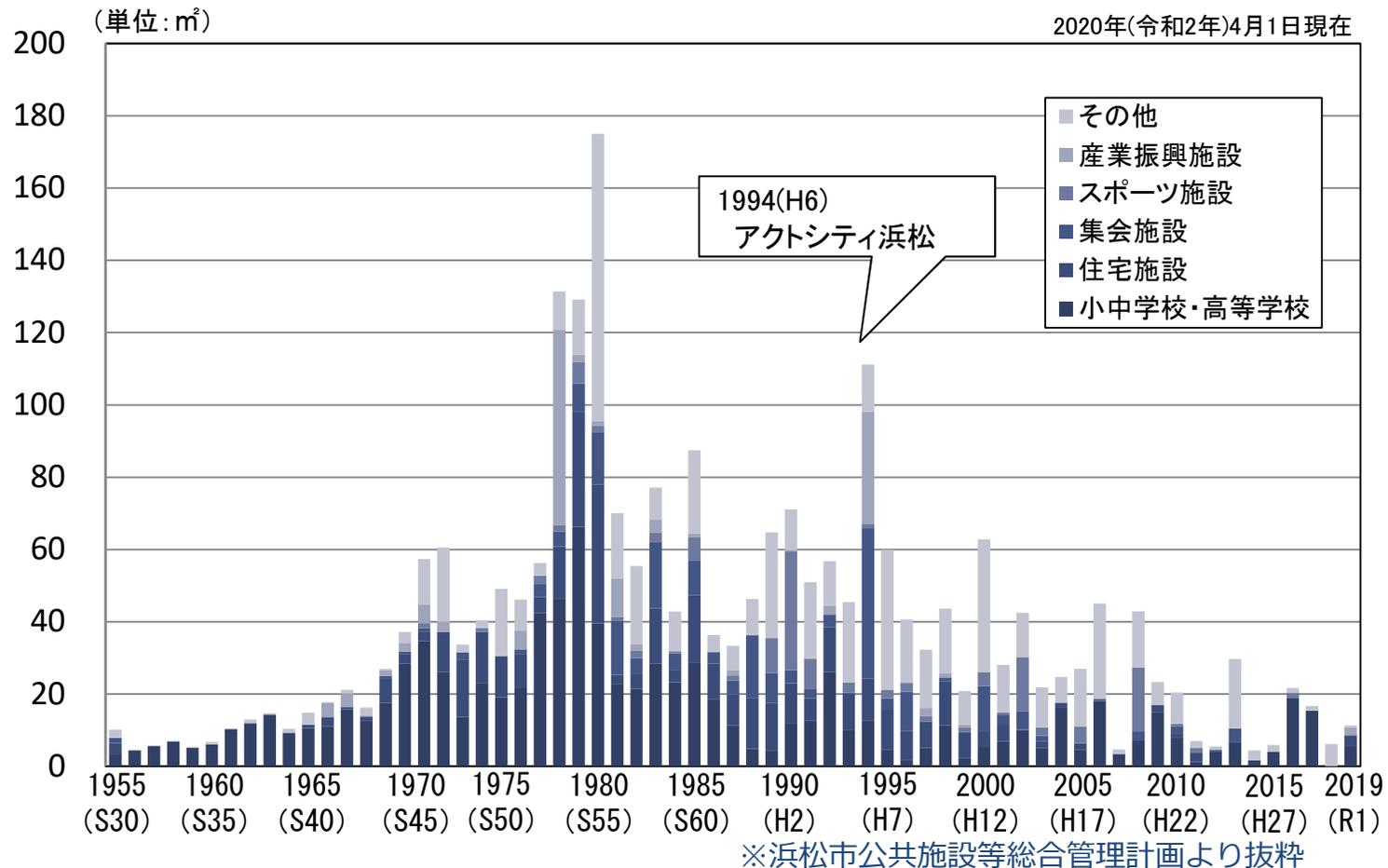


※2020年度（令和2年度）浜松市政を語る会資料より抜粋

将来の浜松市をとりまく環境②

建築年度別公共施設保有状況

- ・都市化の進展や人口の増加に伴い、1970年(昭和45年)頃からの20年間で約137万㎡、全体の約54%が建設されています。
- ・今後、老朽化に対する対応や改修・更新時期の一極化が懸念されます。

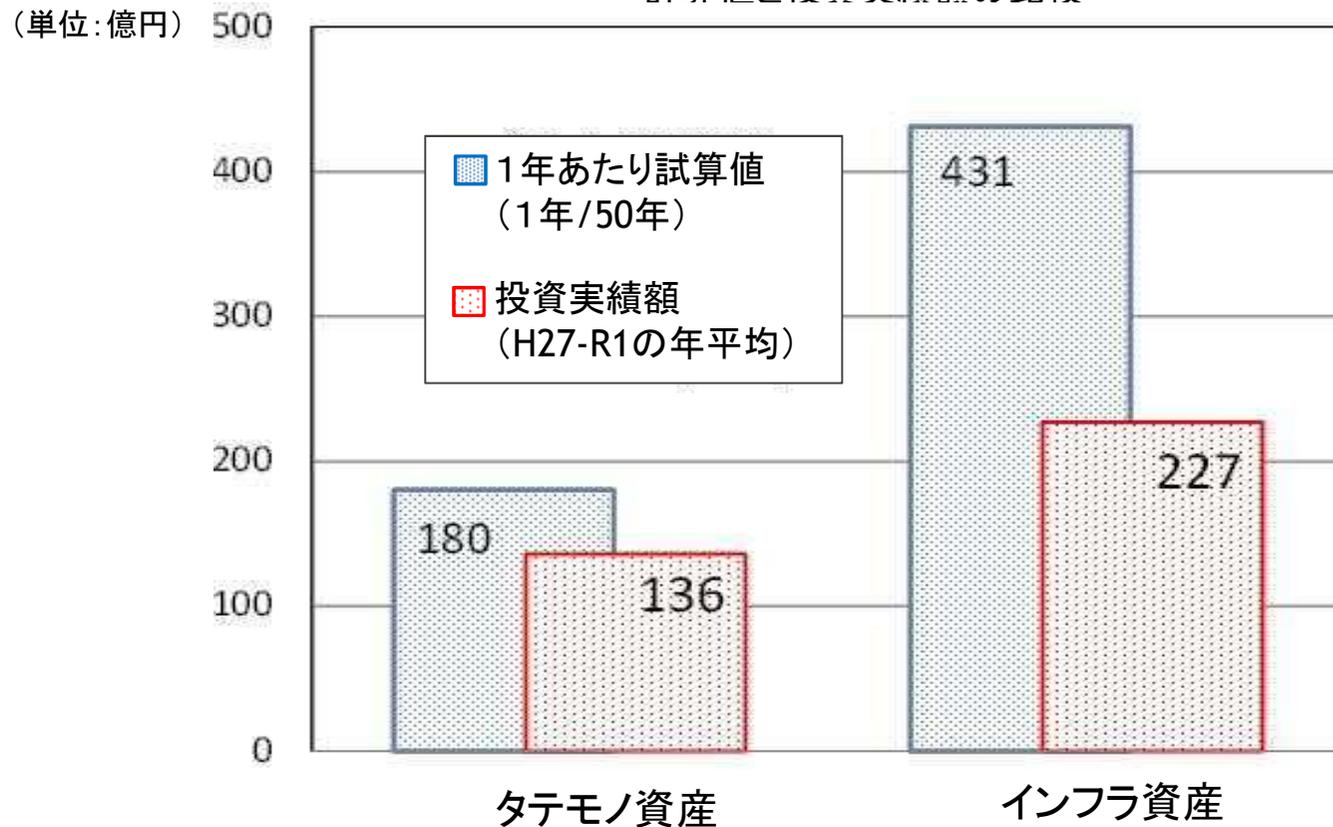


将来の浜松市をとりまく環境③

保有施設に係る改修・更新経費の投資実績

・保有資産すべてを引き続き維持管理し、同規模、同水準で更新する場合、タテモノ資産において、1年当たり約180億円。2015年度(平成27年度)から2019年度(令和元年度)の投資実績(改修・更新費)は、約136億円。今後も恒常的に改修更新費用が不足する見込み。

計算値と投資実績額の比較



2020年度(令和2年度) 浜松市包括外部監査結果

勤労会館の長寿命化と将来的な視点について【意見】 抜粋

主に文化ホールや貸し館として活用されている中大規模施設は、人口減少に起因する稼働率の低下、老朽化の進行、改修・更新経費の増大という問題に直面しており、今後一層深刻化することが見込まれる。また、税込の減少の懸念、更には近年の市における投資実績を踏まえると、全てを従来どおりの形態で将来にわたって維持管理していくのは不可能な状況である。勤労会館もその問題に直面していると考えられる。

市は、勤労会館以外にもホール機能を有する施設を複数保有している。また、2021年(令和3年)6月には、北区新都田に市民音楽ホールの開館が予定されており、勤労会館を巡る事業環境は大きく変化することが想定される。勤労会館はまもなく開館40年を迎え、長寿命化計画に基づき大規模改修の検討が行われることとなるが、一層の文化の振興と市民サービス向上を目指す一方で、市として限られた資源を有効活用することも求められる。将来的な視点では、その時の利用状況を踏まえ、統廃合や複合化を検討することも必要であると考えられる。

したがって、勤労会館については、漫然として運営させるのではなく、コスト意識を持ったうえで、所管課だけでなく他の課とも連携し、マイクロベースではなく市全体として最適な意思決定を実施されたい。

2021年(令和3年)3月

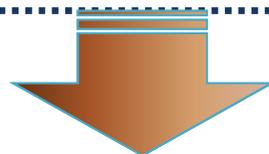
浜松市公共施設等総合管理計画における 勤労福祉施設の考え方①

浜松市公共施設等総合管理計画

市の資産経営を長期的かつ着実に推進

主な課題:人口減少、稼働率低下、税収減少の懸念

膨大なインフラ資産等の維持管理・改修経費の増大



40年を目安として タテモノ資産(施設)の見直し

統廃合等の対象施設

勤労会館(地域施設)

勤労青少年ホーム(市域施設)

浜松市公共施設等総合管理計画における 勤労福祉施設の考え方②

統廃合等の対象施設

勤労会館（地域施設）

地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性を考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討する。

勤労青少年ホーム（市域施設）

施設利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、最適な管理運営と長寿命化に取り組む。

利用者のご意見

拠点的な施設を定める（機能統合）→長寿命化を図る

長寿命化後、40年間活用することを想定

- ・勤労者のニーズに合った施設への対応
- ・ユニバーサルデザイン化

勤労会館の概要①

- 勤労者の文化の向上及び福祉の増進を図るため設置
- 急激な人口増加による労働人口の増加や社会経済情勢を背景に、集会所(会議室)及び教養・娯楽・余暇活動のための福利厚生施設を望む勤労者団体からの要望により設置。

政令市(20市)における勤労会館等の設置状況

- 10市で類似の施設を設置
うち4市(相模原市、堺市、岡山市、熊本市)は
継続の方針を公表

※2021年(令和3年)7月状況

勤労会館の概要②

(1) 名称及び所在地

名称: 浜松市勤労会館(愛称: Uホール)

所在地: 浜松市中区城北一丁目8番1号

(2) 建築物(敷地)の概要

開館年月 1984年(昭和59年)4月
築37年

延床面積 3,577.49㎡

敷地面積 2,956.30㎡

鉄骨鉄筋コンクリート造4階建

(3) ホール

定員: 549固定席 車椅子スペース3席分

楽屋: 洋室1室(22㎡) 和室1室(8畳)

附属設備 音響装置、大型映像装置、
照明装置、吊物装置等

(4) 会議室等

11会議室兼音楽練習室(防音)
(48人/87.1㎡)

21会議室(8人/29.4㎡)

22会議室(26人/55.8㎡)

23会議室(126人/210.5㎡)

24会議室兼音楽練習室(防音)
(48人/87.1㎡)

第1和室(18畳)

第2和室(18畳) 第1和室と通し利用可能

第3和室(8畳)

(5) 駐車場

敷地内: 10台 借地: 90台

勤労会館の概要③-1 老朽化等の課題

- 給水配管の老朽化による漏水
- 空調機の老朽化による故障
- 舞台装置(吊もの機構)の経年劣化
- ホール客席上部吊天井の耐震補強が必要
- ホワイエ及びホールタイル落下の懸念
- ユニバーサルデザイン化未対応(エレベーター未設置、和式トイレ等)
- 駐車場が分かりづらい、駐車台数が足りない

ホール吊り天井(建築基準法施行令の改正)



ホワイエタイル落下

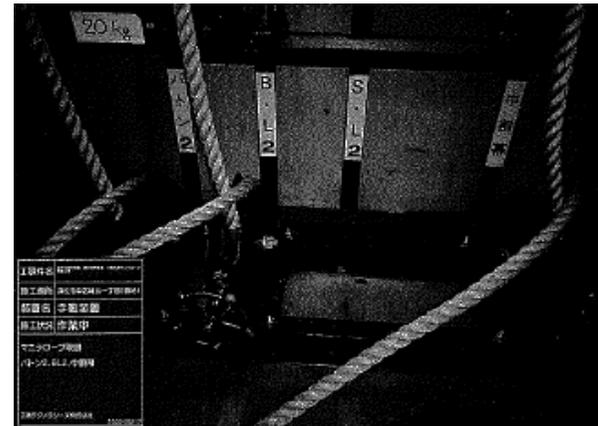


勤労会館の概要③-2 老朽化等の課題

水道管の破裂による漏水



舞台装置(吊もの機構)定期的な取替が必要



経年劣化による外壁のヒビ



屋上防水シートの剥がれ



勤労青少年ホームの概要①

- 「勤労青少年福祉法」に基づき、勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図るため設置
- 2015年(平成27年)の法改正により、施設設置の努力規定が削除された。
- 2019年度(令和元年度)に条例改正を行い、一般利用者の利用時間の拡充等を図った。

政令市(20市)における勤労青少年ホームの設置状況

- 浜松市(1館)
- 新潟市(1館) 2023年度(令和5年度)末コミュニティセンター化予定
- 岡山市(1館) 2021年度(令和3年度)末廃止予定
- 広島市(3館) 2021年度(令和3年度)末廃止予定
- 熊本市(1館)

※2021年(令和3年)6月状況

勤労青少年ホームの概要②

(1) 名称及び所在地

名称：浜松市立勤労青少年ホーム
(愛称：アイミティ浜松)
所在地：浜松市中区船越町11番11号

(2) 建築物(敷地)の概要

開館年月 1985年(昭和60年) 4月
築36年
延床面積 2,932.12m²
敷地面積 8,868.07m²
鉄筋コンクリート造2階建

(3) ホール(多目的ホール)

ホール (100人/171m²)

(4) 会議室等

料理実習室〔調理台4台 (32人/90m²)
音楽室 (30人/61m²)
会議室1 (21人/61m²)
会議室2 (24人/42m²)
会議室3 (36人/63m²)
会議室4 (36人/65m²)
大会議室 (60人/91m²)
美術工芸室 (36人/89m²)
和室 (35畳/61m²)
茶室 (21畳/41m²)
体育館 (2面/892m²)
テニスコート (2面/1,232m²)

(5) 駐車場 160台

勤労青少年ホームの概要③-1 老朽化等の課題

・雨漏り

壁からの雨漏り



天井雨漏り



- ・ユニバーサルデザイン化未対応
(エレベーター未設置、和式トイレ等)

勤労青少年ホームの概要③-2 老朽化等の課題

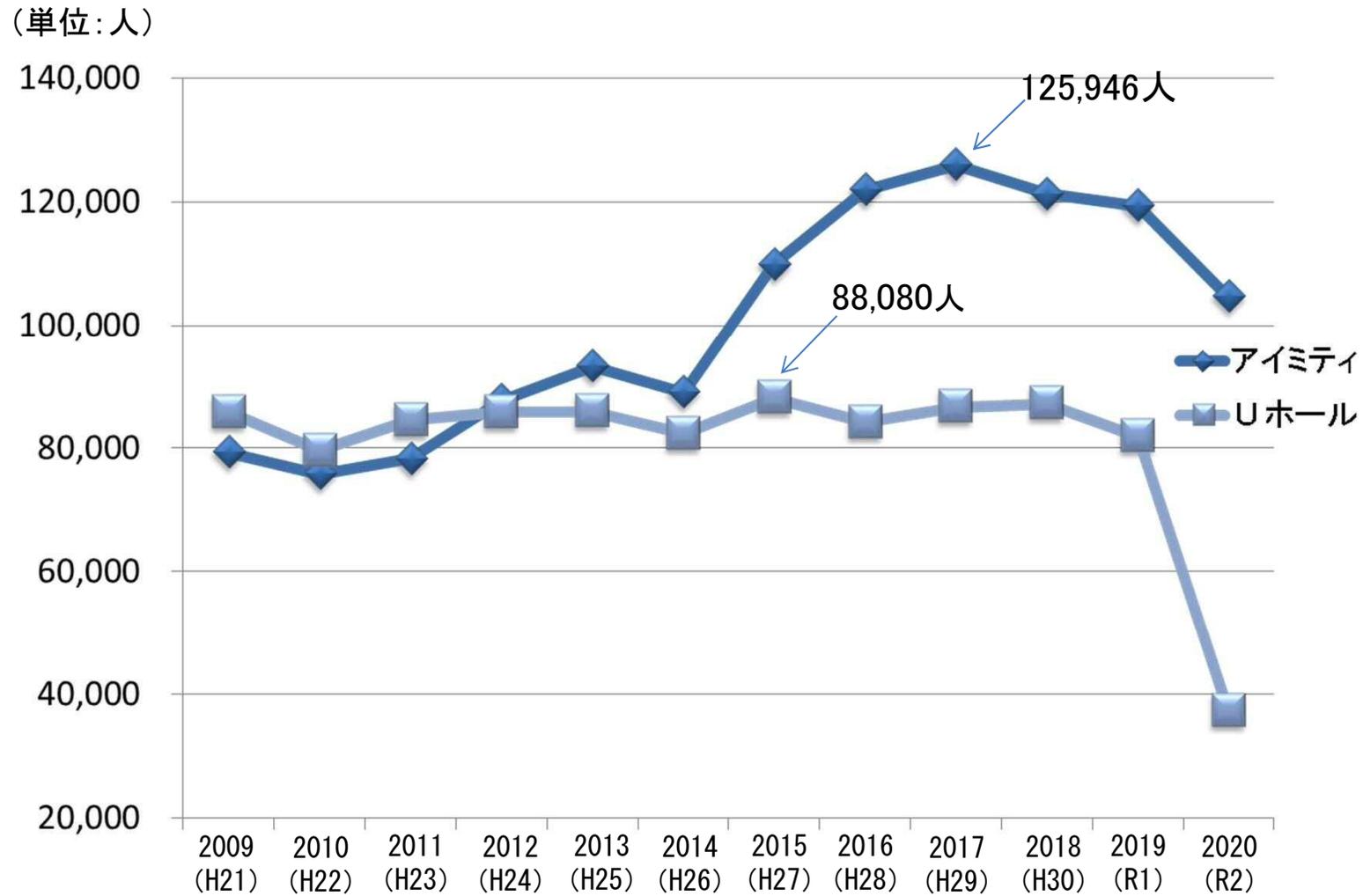
テニスコート フェンスの高さ不足



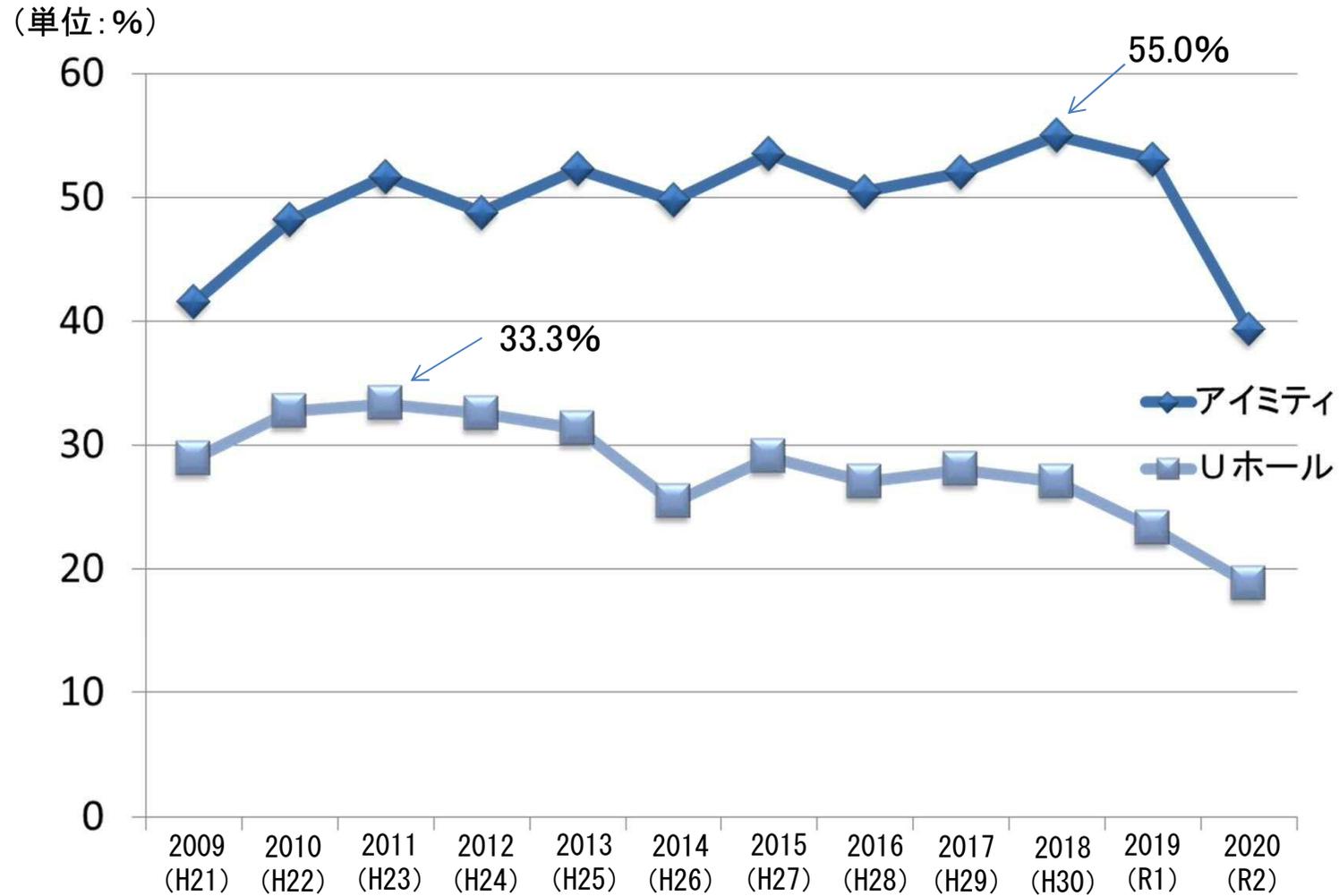
南駐車場 未舗装



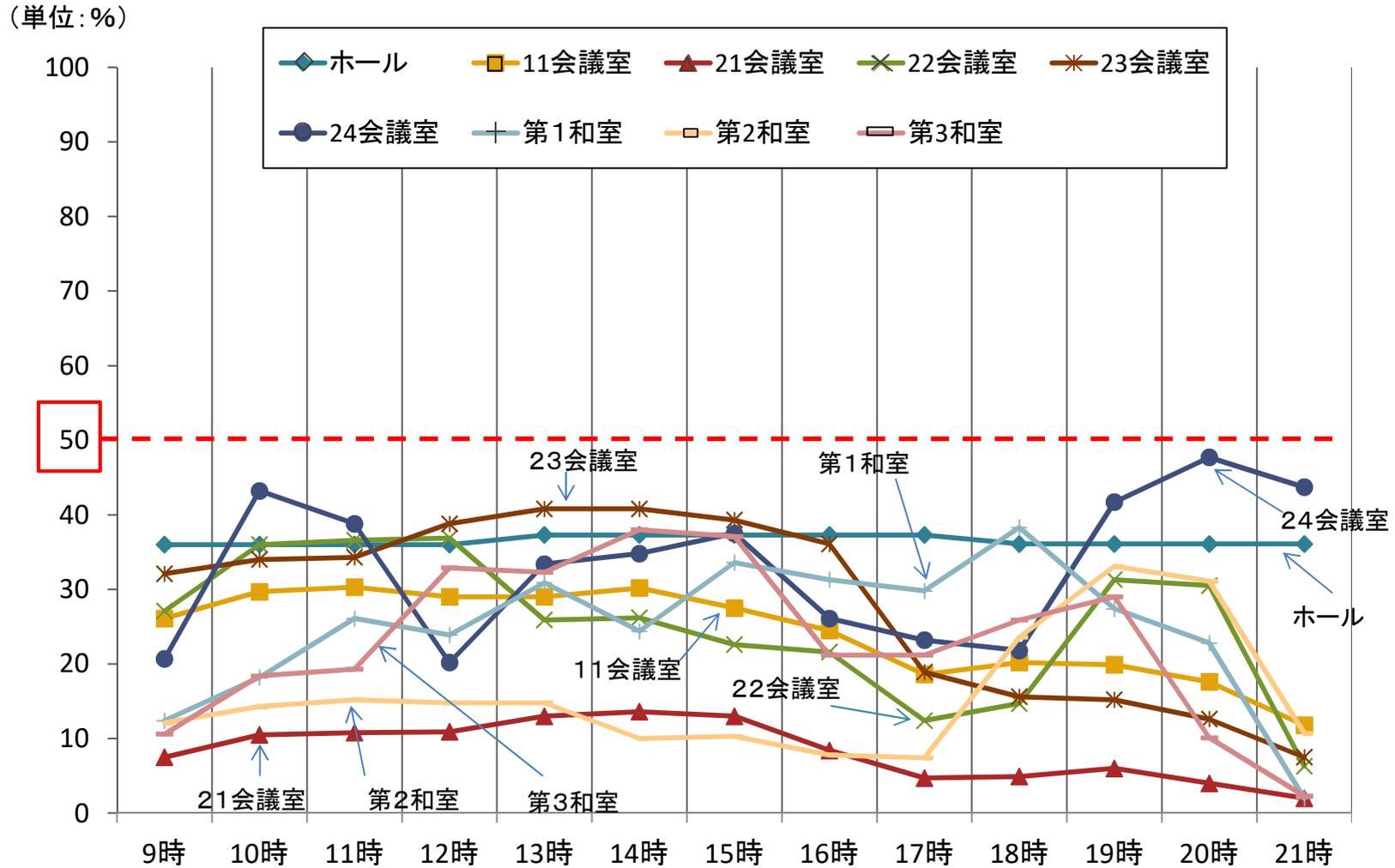
勤労福祉施設の利用人数の推移



勤労福祉施設の稼働率の推移

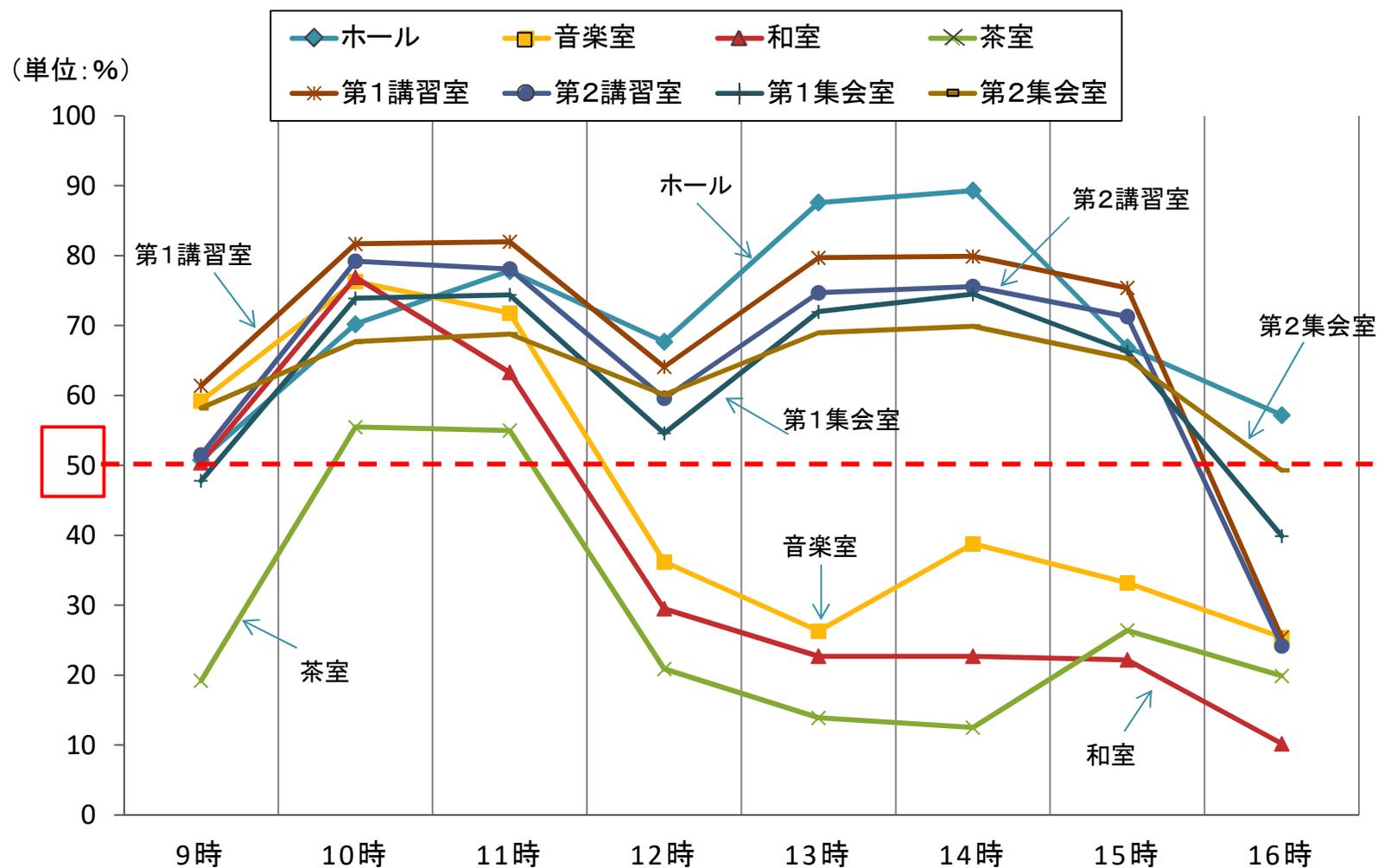


勤労会館 部屋別時間帯別の稼働率



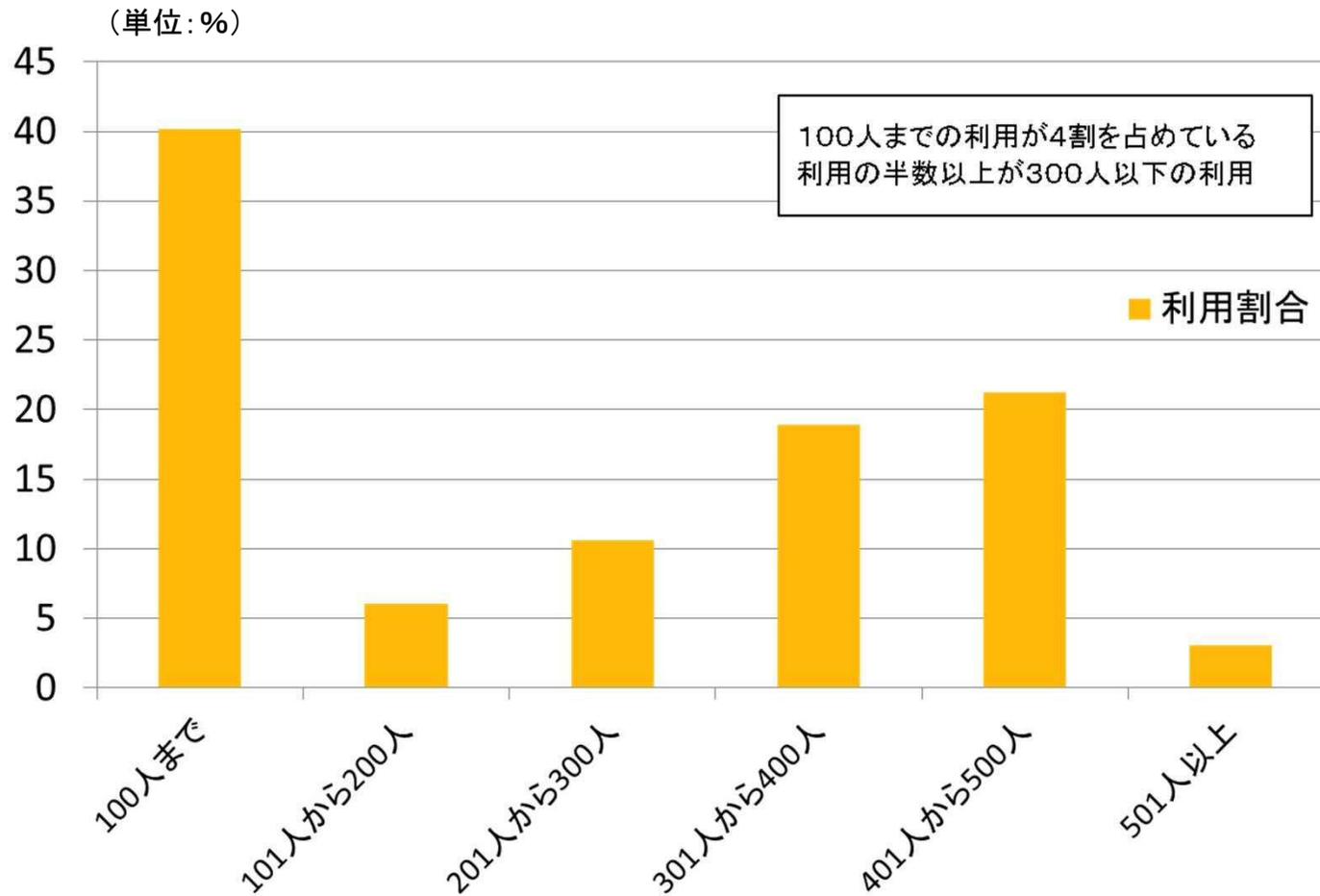
※2019年度(R1年度)の実績

勤労青少年ホーム 部屋別時間帯別の稼働率



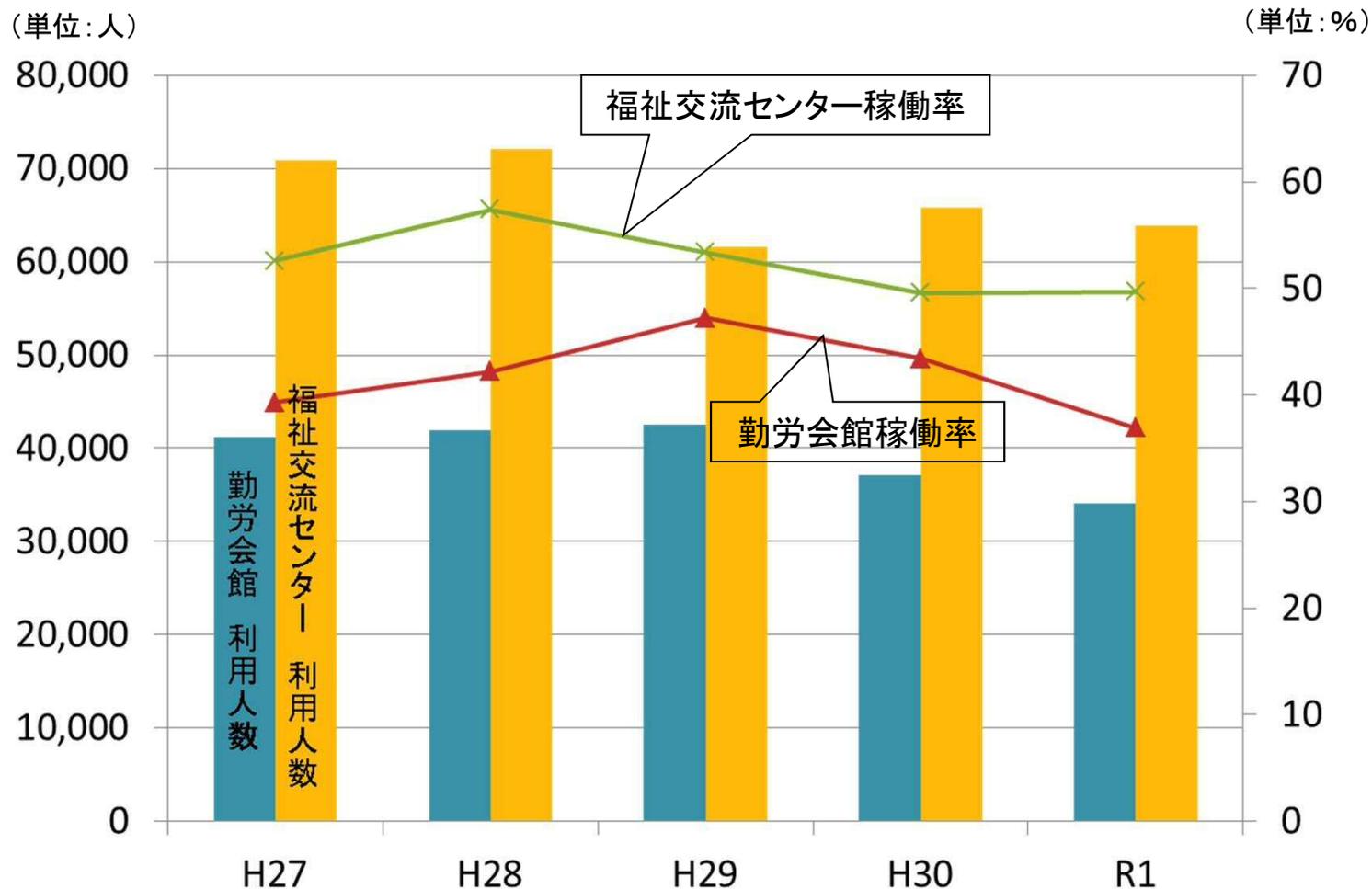
※2019年度(R1年度)の実績

勤労会館(ホール)の利用人数別利用割合



※2019年度(R1年度)の実績

中区にある同規模ホールの利用比較 (勤労会館と福祉交流センター)



※勤労会館552席 福祉交流センター600席

近隣施設の稼働率比較①

施設名	ホール 収容人数	貸部屋数 (ホール等含む)	2018年度 (H30年度) 稼働率	2019年度 (R1年度) 稼働率
勤労会館	549	9	27.0%	23.3%
勤労青少年ホーム	100	13	55.0%	53.1%
アクトシティ浜松 (ホール以外も含む)	2,336	—	74.3%	67.8%
福祉交流センター	600	20	31.5%	31.2%
クリエート浜松	450	21	47.7%	45.7%
あいホール	250	13	71.4%	70.1%

近隣施設の稼働率比較②

施設名	ホール 収容人数	貸部屋数 (ホール等含む)	2018年度 (H30年度) 稼働率	2019年度 (R1年度) 稼働率
西部協働センター	160	11	33.2%	36.3%
曳馬協働センター	150	10	46.0%	45.8%
東部協働センター	150	7	45.8%	49.0%
蒲協働センター	150	6	31.1%	30.2%
青少年の家	150	13	38.8%	38.9%
鴨江アートセンター	—	7	36.5%	35.5%

勤労福祉施設の登録団体

勤労会館

勤労者団体(労働組合)	15団体
勤労者団体(グループ)	7団体

勤労会館設置の趣旨である、労働組合が近年利用しているのは会議室。ホールの利用実績はなし。(※2019年度(R1年度)の実績)

勤労青少年ホーム

勤労青少年団体(40歳未満の団体)	3団体
勤労青少年福祉関係団体等	25団体

時代の変化とともに、勤労青少年ホーム設置の趣旨である、勤労青少年団体の利用に比べ、一般利用者が多くを占めている。

勤労福祉施設のあり方検討利用者意見 集約結果について

第1回勤労福祉施設のあり方検討説明会の概要

- 1 説明会周知方法
 - ・施設掲示、浜松市ホームページ掲載
 - ・開催通知の発送 392団体(登録団体 50 一般利用 342)
- 2 開催日 2021年(令和3年)10月22日(金)、10月25日(月)
- 3 開催回数 全4回
- 4 出席団体数 52団体(登録団体17 一般利用35)
- 5 説明会動画 公開期間 2021年(令和3年)10月26日～11月1日
視聴回数 122回
- 6 意見募集期間 2021年(令和3年)10月22日～12月10日
- 7 提出意見数 54団体 103件

お寄せいただいたご意見に対する市の考え方については、別紙「施設利用者の皆様からの提出意見とその意見に対する市の考え方について」をご覧ください。

第1回説明会 利用者意見集計結果①

勤労会館利用者

単位: 団体

区 分	総 数	機能統合 を理解	勤労会館の存続 を望む等※	その他
勤労者団体(労働組合)	12	12	0	0
勤労者団体(グループ)	4	0	3	1
一般利用	13	4	8	1
計	29	16	11	2

勤労青少年ホーム利用者

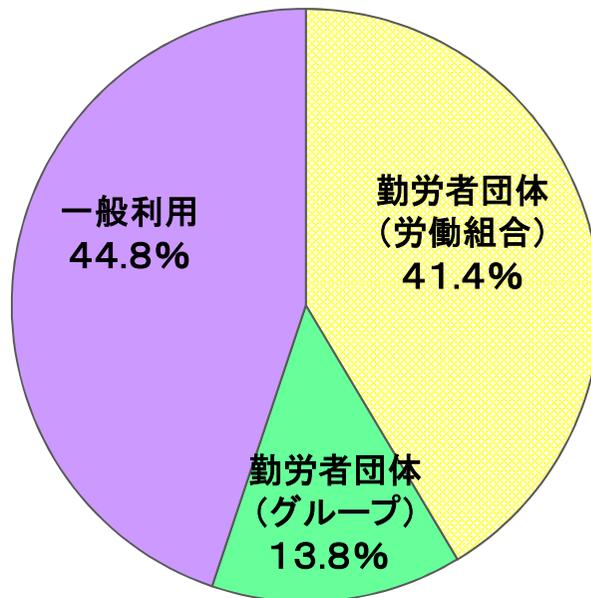
単位: 団体

区 分	総 数	機能統合 を理解	勤労会館の存続 を望む等※	その他
勤労青少年団体	3	3	0	0
勤労青少年福祉関係団体等	7	3	3	1
一般利用	15	8	2	5
計	25	14	5	6

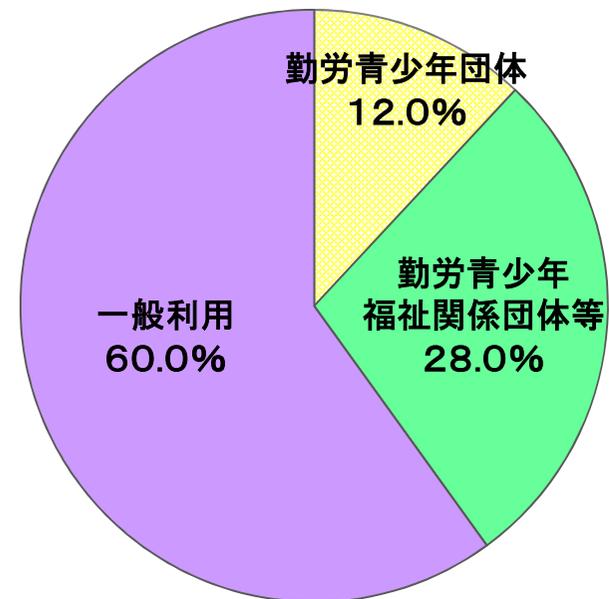
※ 勤労会館の存続、両施設の存続を望むもの

第1回説明会 利用者意見集計結果②

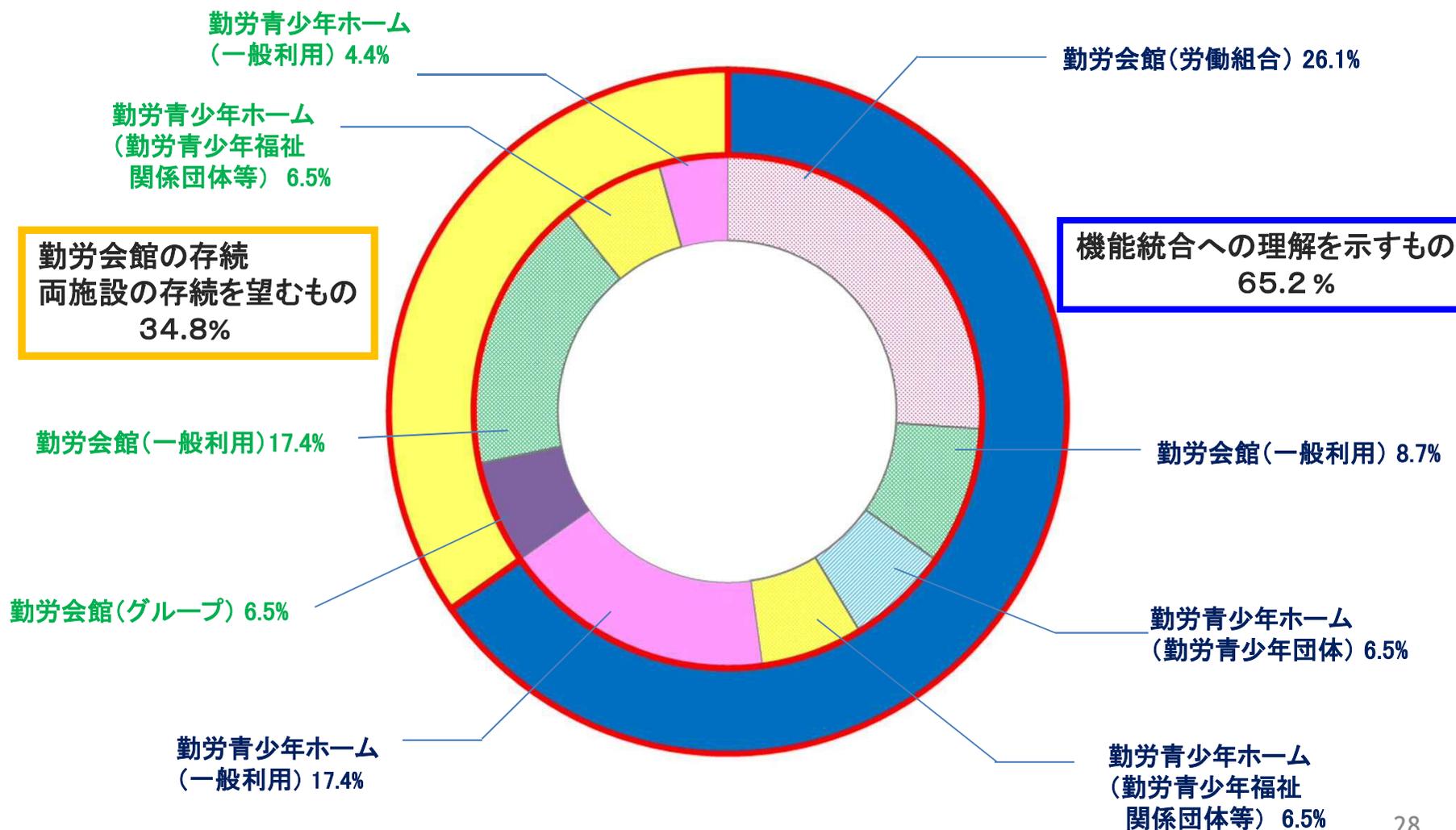
勤労会館 利用者



勤労青少年ホーム 利用者



第1回説明会 利用者意見集計結果③



【勤労会館利用者】 施設の今後のあり方への主な意見

▶ 勤労者団体(労働組合)

機能統合について理解が示された。

▶ 勤労者団体(グループ)

勤労会館のホール、大会議室の存続を望む意見があった。

▶ 一般利用

機能統合について理解を示す意見のほか、
勤労会館のホール、会議室兼ダンス練習室(24会議室)、
現在の場所(城北一丁目)での会議室の存続を望む意見があった。

【勤労青少年ホーム利用者】 施設の今後のあり方への主な意見

▶ 勤労青少年団体

機能統合について理解が示された。

▶ 勤労青少年福祉関係団体等

機能統合について理解を示す意見のほか
両施設の存続、体育館の存続を望む意見があった。

▶ 一般利用

機能統合について理解を示す意見のほか
両施設の存続、体育館の存続を望む意見があった。

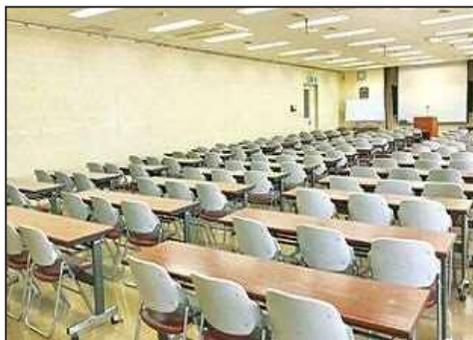
勤労福祉施設機能統合に向けた課題整理のポイント

①機能統合についての利用者の理解

②大会議室(定員100人程度)と会議室兼ダンス練習室の存続について

③劇場型ホールの存続について

大会議室



会議室兼ダンス練習室



劇場型ホール



課題整理のポイント①

- ▶ 勤労会館の登録団体である勤労者団体(労働組合)
及び勤労青少年ホームの登録団体である勤労青少年
団体から機能統合について理解が得られている。



市の考え方

機能統合後、拠点とならない施設に登録している団体については、拠点と定める施設に団体登録、優先予約等の対応を、引き継ぐ。

課題整理のポイント②

- ▶ 大会議室(定員100人程度)と会議室兼ダンス練習室の存続を希望する意見があった。



市の考え方

- ① 浜松市公共施設等総合管理計画に基づき、拠点と定める勤労福祉施設を大規模改修するなかで、同等の会議室を整備し、その機能を継続することは可能と考えます。
- ② 拠点と定める勤労福祉施設のほか、同等の機能を有する他施設の利用方法や登録団体の要件等をご案内いたします。

定員100人以上の会議室一覧

料金は、2022年(令和4年)1月現在 午前1時間あたり

所在区	施設名	部屋名	定員(人)	優先団体 料金(円)	一般利用 料金(円)
中区	勤労会館	23会議室	126	1,590	3,180
中区	勤労青少年ホーム	ホール	100	320	970
中区	アクトシティ浜松	62研修交流室※	108	—	3,650
中区	福祉交流センター	大会議室	118	1,700	3,410
西区	雄踏文化センター	大会議室	100	520	1,040
北区	サーラ音楽ホール	多目的室1	108	550	1,100
北区	サーラ音楽ホール	多目的室2	108	550	1,100
北区	みをつくし文化センター (細江農業環境改善センター)	大研修室	100	410	1,250
北区	三ヶ日協働センター	大会議室	150	310	940
浜北区	浜北文化センター	大会議室	252	—	910
浜北区	浜北文化センター	多目的室	100	—	910
浜北区	浜北地域活動・研修センター	講堂(全面)	150	—	940
天竜区	二俣協働センター	大会議室	160	310	940
天竜区	城西ふれあいセンター	大会議室	120	310	940
天竜区	山香ふれあいセンター	会議室	106	80	160

※区分単位での貸出のため、1時間あたりの料金に換算

会議室兼ダンス練習室一覧(防音・壁鏡設置)

料金は、2022年(令和4年)1月現在 午前1時間あたり

所在区	施設名	部屋名	定員(人)	優先団体 料金(円)	一般利用 料金(円)
中区	勤労会館	24会議室	48	630	1,270
中区	勤労青少年ホーム	ホール	100	320	970
中区	福祉交流センター	第1スタジオ※	35	610	1,220
中区	あいホール	ホール	250	1,670	3,350
中区	あいホール	利用室202	24	360	730
中区	クリエート浜松	スタジオ	40	—	1,250
中区	クリエート浜松	創造活動室	40	—	830
中区	青少年の家	ホール	150	310	940
中区	東部協働センター	ホール	150	310	940
西区	雄踏文化センター	多目的ホール※	100	520	1,040
西区	雄踏文化センター	大会議室	100	520	1,040
西区	雄踏文化センター	中会議室	48	390	790
西区	篠原協働センター	ホール	120	310	940
北区	サーラ音楽ホール	多目的室1	108	550	1,100
北区	みをつくし文化センター	リハーサル室※	—	200	410

※ 机、椅子なし

課題整理のポイント③

▶ 劇場型ホールの存続を希望する意見があった。



市の考え方

利用目的や利用人数に応じて、福祉交流センター、あいホール、クリエート浜松等の施設の特性や利用料金等を考慮したうえで、最も適切な施設の利用方法や登録団体の要件等をご案内することでご理解いただく。

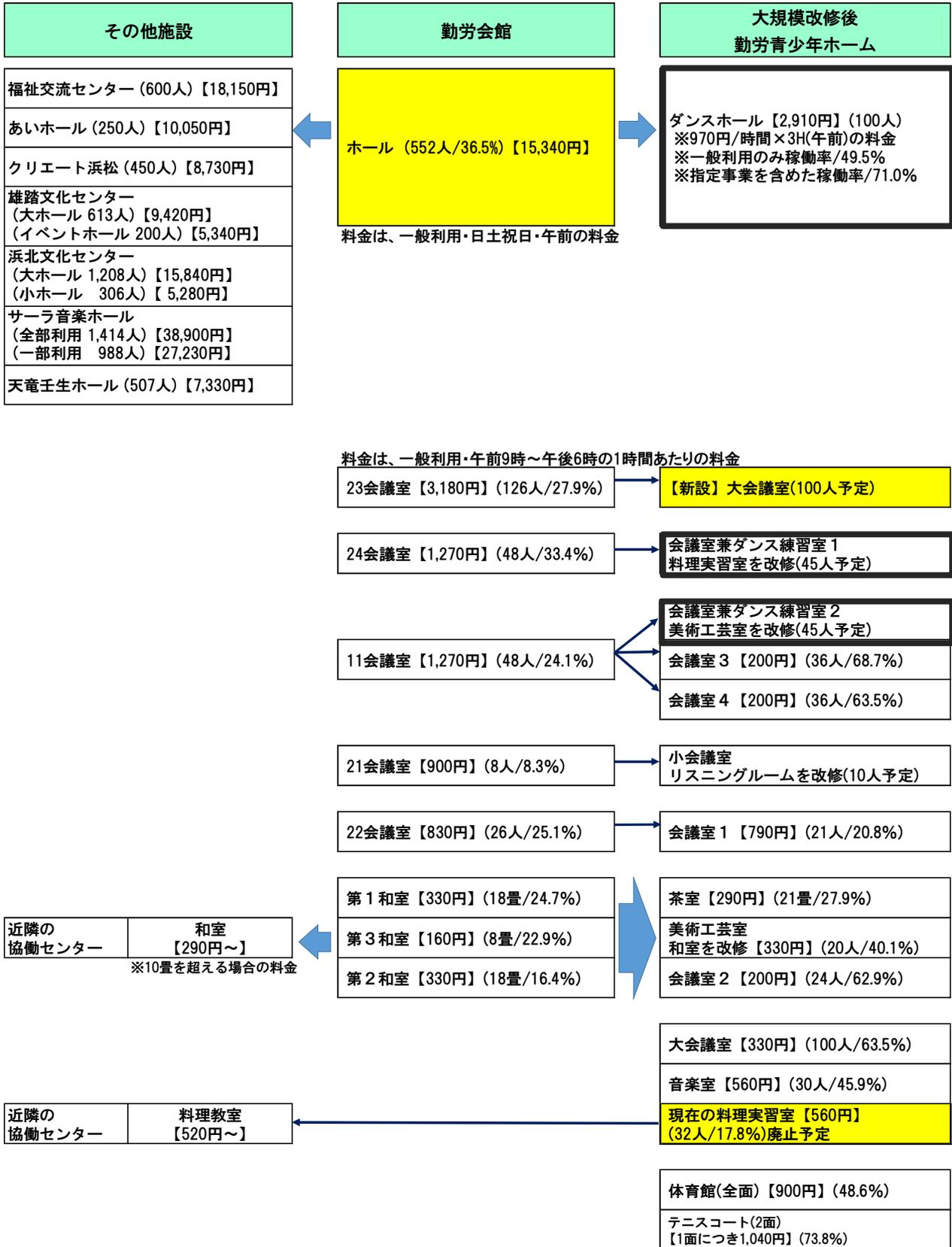
ホール一覧

料金は、2022年(令和4年)1月現在 条例における日曜日・土曜日・休日の午前・入場料の徴収なしの場合

所在区	施設名	圏域	収容人数	固定席	優先団体料金(円)	一般利用料金(円)
中区	勤労会館	地域	552	549	11,000	15,340
中区	アクトシティ浜松 大ホール 全部利用	広域	2,336	2,108	—	93,970
中区	アクトシティ浜松 大ホール中規模使用 (1階2階のみ利用)	広域	1,582	1,354	—	67,250
中区	アクトシティ浜松 中ホール	広域	1,030	998	—	48,030
中区	福祉交流センター	市域	600	564	14,450	18,150
北区	サーラ音楽ホール 全部利用	市域	1,414	1,406	19,450	38,900
北区	サーラ音楽ホール 一部利用(1階のみ利用)	市域	988	980	13,610	27,230
浜北区	浜北文化センター 大ホール	市域	1,208	1,200	—	15,840
浜北区	浜北文化センター 小ホール	市域	306	304	—	5,280
中区	あいホール※	地域	250	—	5,010	10,050
中区	クリエート浜松※	地域	450	62	—	8,730
西区	雄踏文化センター 大ホール	地域	613	604	—	9,420
西区	雄踏文化センター イベントホール	地域	200	—	—	5,340
北区	みをつくし文化センター※	地域	496	—	3,120	6,270
北区	三ヶ日文化ホール	地域	802	765	—	19,860
北区	引佐多目的研修センター※	地域	400	—	2,010	4,020
浜北区	なゆた・浜北	地域	406	—	—	10,380
天竜区	天竜壬生ホール	地域	507	481	—	7,330
天竜区	春野文化センター※	地域	899	—	960	1,920
天竜区	水窪文化会館	地域	380	380	—	4,490
天竜区	龍山森林文化会館※	地域	238	84	2,280	4,560
天竜区	佐久間歴史と民話の郷会館・ 旧佐久間協働センター(大ホール)	地域	500	500	—	8,250
天竜区	佐久間歴史と民話の郷会館・ 旧佐久間協働センター(小ホール)※	地域	120	—	1,260	2,550

※ 1時間単位での貸出のため3時間分として計算

勤労青少年ホームを拠点と定めた場合の機能移転シミュレーション



凡例：部屋名【2022年(R4年)1月現在利用料金】(定員/2019年度(R1年度)稼働率)

施設利用者の皆様からの提出意見と その意見に対する市の考え方について

2021年（令和3年）10月22日から12月10日にかけて実施しました勤労福祉施設のあり方検討について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

意見募集を行った結果、54団体から103件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。今後とも、勤労福祉施設に対するご理解とご協力をお願いいたします。

2022年（令和4年）2月

浜松市産業部産業振興課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2115

FAX 050-3730-8899

Eメールアドレス

rose@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

- 【実施時期】** 2021年（令和3年）10月22日～12月10日
- 【意見提出数】** 54団体
勤労会館 29団体
（勤労者団体（労働組合）12、勤労者団体（グループ）4、一般13）
勤労青少年ホーム 25団体
（勤労青少年団体3、勤労青少年福祉関係団体等7、一般15）
- 【提出方法】** 持参（6）郵便（1）電子メール（1）FAX（8）回収箱（29）
※1枚の意見用紙に複数団体の記載あり
- 【意見内容】** 103件
施設の今後のあり方(機能統合)について 49件
施設の改修について 53件
その他 1件

意見内容（まとめ）

- 1 施設の今後のあり方(機能統合)について（49件）
 - (1) 勤労会館 勤労者団体（労働組合）（12件）・・・・・・・・・・ 2
 - (2) 勤労会館 勤労者団体（グループ）（4件）・・・・・・・・・・ 3
 - (3) 勤労会館 一般利用（14件）・・・・・・・・・・ 5
 - (4) 勤労青少年ホーム 勤労青少年団体（3件）・・・・・・・・・・ 8
 - (5) 勤労青少年ホーム 勤労青少年福祉関係団体等（6件）・・・・・・・・ 9
 - (6) 勤労青少年ホーム 一般利用（10件）・・・・・・・・・・ 11

- 2 施設の改修について（53件）
 - (1) ホールについて（1件）・・・・・・・・・・ 13
 - (2) 会議室について（14件）・・・・・・・・・・ 13
 - (3) 駐車場について（7件）・・・・・・・・・・ 14
 - (4) テニスコートについて（4件）・・・・・・・・・・ 14
 - (5) 体育館について（3件）・・・・・・・・・・ 15
 - (6) 予約開始時期、利用料金等について（3件）・・・・・・・・・・ 15
 - (7) ユニバーサルデザイン化等について（14件）・・・・・・・・ 15
 - (8) その他（施設の改修に関すること）（7件）・・・・・・・・ 16

- 3 その他（1件）
 - 説明会資料に関すること（1件）・・・・・・・・・・ 17

1 施設の今後のあり方(機能統合)について

(1) 勤労会館 勤労者団体 (労働組合)

意見数 12件

1~9	勤労会館機能を勤労青少年ホームに統合することについて理解する。機能統合後も勤労者団体の優先利用を維持してほしい。(9件)
10	勤労会館機能を勤労青少年ホームに統合することについて市の方針に同意する。
11	予算的に両施設を改修するのが難しいことは理解できる為、機能統合について理解する。
12	勤労会館機能を勤労青少年ホームに統合することについて理解する。

【市の考え方】

本市は、これまで経験したことのない少子高齢化に伴う人口減少を前提とし、2014年(平成26年)12月に30年後の未来ビジョンとその道筋を示した「浜松市総合計画基本構想・基本計画」を策定しました。

人口減少に起因する資産の遊休化、稼働率の低下、税収減少の懸念、老朽化が進む資産の維持管理、改修・更新経費の増大、更には、本市における改修・更新経費の実績をふまえると、すべての資産を従来どおり将来にわたり維持管理していくことは不可能な状況と考えられます。

こうした浜松市をとりまく課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた市が保有する全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として「浜松市公共施設等総合管理計画」を2016年(平成28年)3月に決めました。

「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設に対するニーズの変化や各施設の状況等をふまえ、勤労会館と勤労青少年ホームの2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。

(2) 勤労会館 勤労者団体（グループ）

意見数 4件

1	勤労青少年ホームに勤労会館 23 会議室（定員 126 人）のような大会議室がないため、勤労会館の存続を希望する。
---	---

【市の考え方】

機能統合する際、勤労会館 23 会議室（定員 126 人）のような大会議室を拠点と定める施設において整備することを検討します。

2	「勤労者の施設」にしばられなくともよい。
---	----------------------

【市の考え方】

勤労会館、勤労青少年ホームは条例により設置される施設です。

条例では、勤労会館は、「勤労者等の文化及び福祉の増進を図るため設置する」、勤労青少年ホームは、「勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図るため設置する」と規定されています。条例の趣旨に基づき、「勤労者のための施設」として機能統合を検討します。

なお、文化活動を目的とした施設についても、同様に条例により設置されており、利用される方の目的に合う施設をご利用いただくことができます。

3	どちらの施設も築年数が変わらず、修繕できれば問題ない範囲なのではないか。
---	--------------------------------------

【市の考え方】

「浜松市公共施設等総合管理計画」では、浜松市の将来の概況、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財政運営を両立するためにも延床面積の縮減が必要であると示されています。

勤労会館については、2020 年（令和 2 年）に給水配管の老朽化による大規模な漏水の発生や 23 会議室の空調機の故障により、利用者の皆さまへご不便をおかけする等、老朽化の課題に直面しており、小規模な修繕では対応できない状況となっています。

また、2020 年度（令和 2 年度）の包括外部監査では「将来的な視点では、その時の利用状況を踏まえ、統廃合や複合化を検討することも必要であると考えられる。」と意見が出されました。

こうしたことから、2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。拠点と定める施設については、利用者の皆さまのご意見を参考に、より利用しやすい施設へ整備することを検討します。機能統合について、ご理解いただきますようお願いいたします。

4	勤労会館は、同規模の福祉交流センターと比べても音質がよく、音楽の街として浜松の大切な財産。もし使えなくなるのであれば大きな損失。勤労会館が利用できない場合、福祉交流センターの予約が混み合う。
---	---

【市の考え方】

将来の浜松市をとりまく、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着

実に推進するための羅針盤として定めている「浜松市公共施設等総合管理計画」において、勤労会館を含む地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性を考慮し、必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討することが示されています。

福祉交流センターなど他施設利用については、利用目的や利用人数、施設の特性等を考慮したうえで、最も適切な施設の利用方法や登録団体の要件等をご案内いたします。

(3) 勤労会館 一般利用

意見数 14 件

1	勤労者のためであれば、一つになってもよい。立地を生かしてリニューアル。今必要な違う目的のために生まれ変わってほしい。
2	本来の目的での利用が少ないこと、浜松市の人口減少の可能性を考えると、大人の今だけの都合で、これからの子ども達に負担を残すべきではないと考える。2つの施設を統廃合し、これからの社会を生きる子どもや若者たちも使用できる施設を作ってほしい。
3	浜松市の将来の人口減少を考えると勤労会館は続けるべきでない。利用者側も勤労青少年ホームと他施設利用で再考すべき。将来の財政を支える側の負担を考えると浜松市も国全体も同じ。発想の転換が必要。外国人を入れ、治安や教育に力を入れて、国、社会を発展させていけば、良い方向が見いだせるのではないか。
4	市の資産経営及び機能統合により、長寿命化を図ることに賛成。機能統合の際は、老朽化した設備の改修は急務だが、それぞれの施設をある程度保管できる形を整えてほしい。

【市の考え方】

今後 40 年間を見据え、2つの勤労福祉施設を機能統合し、拠点と定める施設を大規模改修することにより、施設の利便性が向上するとともに、将来にわたり財政的な負担が軽減します。こうした取組により、人口減少をはじめとする浜松市をとりまく課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供が可能となると考えます。

・ 勤労会館のホール存続に関するご意見

5	市の中心に定員 500 名程度のホールが必要。遠方では集客が難しく、金額面でも勤労会館が適しています。
6	近隣であるため、行事でホールを使用。勤労会館を存続してほしい。
7	勤労会館は演劇や音楽会等の用途に親しまれてきた。演劇やダンス等には舞台袖、袖幕が必須。勤労会館は浜松市に現存する数少ない舞台袖を有した劇場。公演ジャンルにより、劇場の棲み分けが必要で、アクトシティに適するものばかりではない。勤労会館のホールが無くなったら、浜松市の文化を育てる土壌が失われる。

8	<p>音楽をやっている人にとって、本格的な舞台での演奏経験はとても貴重なもの。浜松が音楽の街というのなら、趣味として音楽をやっている人が、音楽技術を高めるため、舞台での演奏は欠かせない。発表会等では舞台は広くほしいがキャパは300程度で十分。福祉交流センターは反響版を使うと緞帳が使えず、アクト中ホールは緞帳がなくキャパが多すぎる。勤労青少年ホームは練習場所としてしか使えない。クリエートはキャパは良いが舞台は不安定、広さも不十分、楽屋も使いにくい、客席も可動式で使いづらい。都田の音楽ホールは、車を持たない高齢者には遠すぎる。はまホールの場所になぜ建て替えができなかったのか。勤労会館は駅から近くタクシーにも気軽に乗れる距離でバス停も近い。ぜひ勤労会館を残してほしい。市は、採算のことだけ考え、音楽の街と言っているだけで、実際教室を主宰し、発表の場を探すのに苦労している人間のことなど何も考えていない。</p>
---	--

【市の考え方】

「浜松市公共施設等総合管理計画」では、浜松市の将来の概況、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財政運営を両立するためにも延床面積の縮減が必要であると示されています。

さらに、ホール等の施設については、2020年（令和2年）3月に策定された「浜松市文化振興ビジョン」において、市民が良質な文化芸術や伝統文化に気軽に接することができるよう、必要な施設の整備、維持管理を行うとともに、社会環境や市民ニーズの変化をふまえ、施設の設置意義や役割の見直し、施設の更新や運営の検討を行うこととしています。

今回のような機能統合を検討する中で、拠点と定める施設のほか、運営が継続される施設等を最大限活用し、本市の文化資源を活かすとともに、市民による文化芸術などの創造的活動の促進を図り、文化の創造と発展そして持続的な循環が行われる都市を目指します。

・ダンス練習室に関するご意見

9	<p>勤労会館 24 会議室は、はまホールの練習室の代替部屋。ダンス用リノリウム(床材)の常備、大きな鏡、防音室があることに加え、和室、会議室も控室として利用している。勤労会館の改修を望む。</p>
10	<p>今後、勤労会館が無くなったら、鏡付きのレッスン室を探さなくてはならない。都合のよい時間帯に部屋を取れるかどうかが一番気がかり。</p>

【市の考え方】

機能統合の際は、会議室が不足することがないように検討します。また、勤労会館 24 会議室（定員 48 人 鏡つき・防音室）の機能については、拠点と定める施設において整備することを検討します。

・現在の場所での勤労会館会議室の存続を希望するご意見

11	勤労会館の存続希望。勤労会館の場所が良くて通っている方が多くいる。勤労会館がなくなると不便。子ども達の学びの場を奪わないでほしい。
12	近隣（城北、元城、中沢、広沢、下池川、蛭塚等）の方々が通っている。施設の面ではエレベーターがなく大変だが駐車場も有り助かっている。勤労青少年ホームの施設の統合についてはエリアが違うため反対。費用のかからないリニューアルをしていただき今後も使用したい。
13	ホールがなくても、市民が利用しやすい場所として、できればこの場所で存続してほしい。
14	年齢的に遠くの会場に通えない状況。競争して会場確保に出向くことは困難。勤労会館に必要な改修（地震対策の補強、防水、塗装、内装の改造補修、エレベーターやエスカレーター等の追加変更等）をして継続して利用したい。

【市の考え方】

機能統合の際は、どちらかの施設を拠点的施設と定めることとなります。

会議室の部屋数が不足することがないよう検討するとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設への改修を検討します。

また、勤労会館については、2020年（令和2年）に給水配管の老朽化による大規模な漏水の発生や23会議室の空調機の故障により、利用者の皆さまへご不便をおかけする等、老朽化の課題に直面しており、小規模な修繕では対応できない状況となっています。

機能統合について、ご理解いただきますようお願いいたします。

(4) 勤労青少年ホーム 勤労青少年団体

意見数 3件

1	長年利用しており、立地面や金額面を考慮した結果、ありがたく使用している。若い世代も増え、外部にもPRしており継続してほしい。
2	勤労青少年団体として、長年にわたり勤労青少年ホームで活動してきた。今後も末永く活動していきたい。
3	今後も勤労青少年ホームでテニスをしたい。

【市の考え方】

機能統合後において、勤労青少年団体の優先利用を維持し、登録団体として利用していただけるよう検討します。

(5) 勤労青少年ホーム 勤労青少年福祉関係団体等

意見数 6件

1	「勤労青少年福祉法」に基づき施設が設置された時代より、少子高齢化が進み生活・労働環境が変化している。時代のニーズにあった対応をする必要がある。勤労青少年ホームは、稼働率が良好で市民活動が盛況。コミュニティ文化センターのような名称で勤労青少年ホームを継続してほしい。
2	老朽化に伴う統合についてはやむを得ないと思う。統合後の運営については利用団体の状況をみて検討したほうがいい。

【市の考え方】

将来の浜松市をとりまく、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として定めている「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき、勤労会館と勤労青少年ホームの2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。

条例に基づく勤労福祉施設としての位置づけは維持し、施設名称等については今後検討していきます。

3	市体育館の取壊しにともない、勤労青少年ホームの体育館を利用している。市内中心部の体育館として継続して欲しい。
---	--

【市の考え方】

勤労青少年ホームの体育館は、勤労福祉施設としての位置づけであり、拠点的施設を定める場合は、体育館のあり方についても検討していきます。

なお、本市のスポーツ施設は「浜松市公共施設等総合管理計画」により、浜松アリーナ等の「広域施設」、サーラグリーンアリーナ等の「市域施設」、浜北体育館や雄踏総合体育館等の「地域施設」、学校体育館等の「生活圏域施設」等に分類し、その利用圏域区分に応じた整備方針に基づき、施設の配置を行っていきます。

▶「広域施設」市内だけでなく国内・外からの集客を目的としたコンベンション機能を持つシンボリックな施設。

▶「市域施設」市域全体での利用を基本単位とし、各用途における業務・活動拠点の中心として位置づけられる施設。

▶「地域施設」行政区域内程度の利用を基本単位とし、他の利用圏域に属さない施設。

4~5	勤労会館、勤労青少年ホームにそれぞれの良さがあるため、両施設を存続してほしい。(2件)
6	勤労会館の利用はほとんどないが、市内各団体の活動の場としてなくてはならない施設だと思われる。今後とも維持することを希望。

【市の考え方】

「浜松市公共施設等総合管理計画」では、浜松市の将来の概況、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財政運営を両立するためにも延床面積の縮減が必要であると示されています。

勤労会館については、2020年(令和2年)に給水配管の老朽化による大規模

な漏水の発生や23会議室の空調機の故障により、利用者の皆さまへご不便をおかけする等、老朽化の課題に直面しており、小規模な修繕では対応できない状況となっています。

また、2020年度（令和2年度）の包括外部監査では「将来的な視点では、その時の利用状況を踏まえ、統廃合や複合化を検討することも必要であると考えられる。」と意見が出されました。

こうしたことから、2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。拠点と定める施設については、利用者の皆さまのご意見を参考に、より利用しやすい施設へ整備することを検討します。機能統合について、ご理解いただきますようお願いいたします。

(6) 勤労青少年ホーム 一般利用

意見数 10件

1	浜松市各地区から集まる会議に使用しており、勤労青少年ホームは市の中心部にあるため便利。今後も継続して利用したい。
2	勤労青少年ホームの方が駅に近くバス停等立地条件がよく、駐車場もあるため存続することを希望。
3	機能統合しても会議室機能を維持してほしい。勤労青少年ホームは駐車場が多くて利用しやすい。
4	勤労青少年ホームは立地条件が良く、無料駐車場もあり各種利用に好評。人口減少をくい止める手段として魅力ある施設にするべき。
5	統合しても体育館の存続を希望。
6	稼働率の低い勤労会館は閉鎖し、必要な機能は機能統合先に融合して存続することが妥当と思う。勤労会館の跡地を売却し機能統合先の施設の再建に充てることができれば駐車場の開拓もできるのではないかと。
7	現状の勤労青少年ホームの利用状況を外部から見ると最高の施設だと思う。利用状況を見て統合することを考えるべき。将来を考え統合せざるを得ない施設を廃止し、交通の便を配慮した施設との統合を考えるべき。
8	建物の老朽部分が少なく、駐車場が大きく使いやすいため勤労青少年ホームに統合希望。勤労会館は、駐車場まで遠く、交通量の多い道路を横断しなくてはならない。特に雨の日等は利用しにくい。

【市の考え方】

将来の浜松市をとりまく、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として定めている「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき、2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。機能統合後、拠点とならない施設のあり方については、市の公有財産の活用企画や管理指導を行うアセットマネジメント推進課と協議していきます。

9	納税者の立場として機能統合はやむを得ないと考えられる。しかしながら利用者としては両施設とも地域に根付いた必要不可欠な施設であり、そのまま利用できることを望んでいる。最近の新しい施設は郊外に建てられることが多く、街中心部にある施設は貴重。両施設も計画的に大規模改修を行うことを前提に新たな利用者や収益事業等を考え利益を生み出せる施設にしていけば地域も盛り上がると思う。
10	機能統合の必要性は理解できるが、市役所の機能をプラスアルファして、両施設を残せる形で検討してほしい。クラッシュ&ビルドより両施設を残すことを希望。

【市の考え方】

「浜松市公共施設等総合管理計画」では、浜松市の将来の概況、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財

政運営を両立するためにも延床面積の縮減が必要であると示されています。

勤労会館については、2020年（令和2年）に給水配管の老朽化による大規模な漏水の発生や23会議室の空調機の故障により、利用者の皆さまへご不便をおかけする等、老朽化の課題に直面しており、小規模な修繕では対応できない状況となっています。

また、2020年度（令和2年度）の包括外部監査では「将来的な視点では、その時の利用状況を踏まえ、統廃合や複合化を検討することも必要であると考えられる。」と意見が出されました。

こうしたことから、2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。拠点と定める施設については、利用者の皆さまのご意見を参考に、より利用しやすい施設へ整備することを検討します。機能統合について、ご理解いただきますようお願いいたします。

2 施設の改修等について

(1) ホールについて (1件)

1	発表会・講演会などが開催可能な客席つきホールの設営
---	---------------------------

【市の考え方】

拠点と定める施設のホールは、講演会や発表会への対応のみならず、ダンス練習等、多目的に活用できるホールとなるよう検討します。

(2) 会議室について (14件)

1~2	勤労会館 23 会議室 (定員 126 人) のような大会議室が必要 (2件)
3~4	会議室を増やしてほしい。(2件) 部屋数が少ないため予約が困難。
5	施設の老朽化を感じていた為、エアコン・トイレ等の改修は必要。コロナの影響によりリモート会議の機会が増加しており、高速のネット通信環境、オンライン会議用の設備 (モニター、音響設備) があるとよい。駅前を中心に低価格の貸会議室が増えており、利用のしやすさが求められる (web 予約画面の使い易さ等)。勤労者が気軽に利用できるブース (テレワークブース) など他施設との違いを生むことで利用者の使い易さにつながるのではないか。
6	ディスプレイ・プロジェクターの常備された部屋が必要。Wi-Fi の整備希望。機材搬入口 (荷物等の搬入口) が必要。会議室の大きさに見合ったスクリーンの設置を希望。会議室のコンセントの数が少ない。換気設備が弱い為、感染症対策のため会議室のドアを開放すると音が漏れて他の会議室の迷惑になる。適切な換気設備を設置してほしい。機能統合した場合、会議室が不足すると考えられる。
7	会議室のインターネット回線整備
8	小さい会議室の設置を希望。会議室に大きなスクリーンの設置を希望。
9	研修での利用ができるよう、大会議室へプロジェクターとスクリーンの設置を希望。ユニバーサルデザインを希望。
10	勤労会館 24 会議室 (定員 48 人防音室) のような鏡張りの部屋が複数必要 (防音、防振)。ダンスの練習室設置希望。床は木材でコンクリートに直貼りしないでほしい。フラメンコシューズ (釘あり) もリノリウム等で使用可としてほしい。簡単に準備・片付けができるリノリウムの設置希望 (そのまま使える床がベスト) 鏡 (180×90) を 6 枚以上、部屋の長い辺側に設置希望。音響設備の設置希望。2、3 人で利用できる小部屋 (防音) が欲しい。1 人~数人で自主練習ができるような設備の部屋を確保してほしい。敷地内に利用者分の駐車場の整備希望。バスのアクセスを良くしてほしい。ホワイトボードの設置。
11	ダンスを目的としている団体が多い。明るい雰囲気、姿見 (鏡)、音響、照明設備、防音、足膝腰に優しい板張りフロアの部屋を複数用意してほしい。
12	音出しができる部屋が複数ほしい。音楽室にもっとスペースがほしい。

13	企業会合、子育て支援のための講習、趣味・学習の場になるような会議室兼講習室の整備、映像を映し出すための投影機器等の設置。床マットの部屋（児童室、運動、床に座って演奏する楽器の練習、床で作業が必要な教室等用）鏡付の部屋（ダンス練習等大・小）
14	稼働率の低い部屋から時代のニーズに沿った部屋へリノベーションし、稼働率の良い部屋への改修を希望。

【市の考え方】

機能統合の際は、会議室が不足することがないように検討します。

また、勤労会館 23 会議室（定員 126 人）のような大会議室機能、24 会議室（定員 48 人）のような会議室兼ダンス練習室の機能については、拠点と定める施設において整備することを検討します。

リモート会議にも対応できる高速のネット通信環境、オンライン会議用の設備（モニター、音響設備）の整備、プロジェクター、スクリーンの設置については、時代のニーズと捉え、整備を検討します。

（3）駐車場について（7 件）

1~2	ホールの機能としてはそのまま、駐車場を十分に確保。（2 件）
3~4	勤労青少年ホームの駐車場の幅が狭いため大きくしてほしい。ラインを引いてほしい。（2 件）
5	勤労青少年ホームの南駐車場の出入口の道路の整備。
6	駐車場整備。
7	勤労青少年ホームの駐車場出入口の不都合解消のため、テニスコートを南駐車場一番南側に移動して、分断されている駐車場をつなげる。北東出入口から堤防沿いの道に流れを作り、施設より北側からの出入りができるようになれば西側道路が渋滞しない。

【市の考え方】

機能統合により、拠点と定める施設の駐車場が込み合うことが予測されるため、駐車台数の確保、駐車区画の整備を検討します。

勤労青少年ホームの南駐車場とテニスコートとの間は公道であるため、仮にテニスコートを移動させたとしても駐車場をつなげることはできません。

道路の渋滞解消については、関係機関とも協議を行います。

（4）テニスコートについて（4 件）

1	東側のフェンスを高くしてほしい。
2	フェンスが低いので川沿いはボールが外に出ると戻ってこないし、西面は近隣の家迷惑をかける。迷惑をかける。
3	浜松駅周辺のテニスコートが少ないので、テニスコートの面数を増やしてほしい。
4	夜間のテニスコートを一般に貸し出すようにしていただきありがたい。無人対応できるように工夫して土日の早朝も貸し出すことができれば稼働率が上がるのでは。

【市の考え方】

ご意見を参考に、勤労青少年ホームのテニスコートフェンス改修について検討します。

「浜松市公共施設等総合管理計画」では、勤労青少年ホームは、「スポーツ施設」ではなく「勤労福祉施設」としての位置づけとなっています。引き続き勤労青少年ホームのテニスコートの稼働率向上に努めるとともに、サービス向上について検討を行います。

「スポーツ施設」としてのテニスコートについては「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づく利用圏域区分に応じた整備方針により、計画的な維持管理に努めていきます。

(5) 体育館について (3件)

1	騒音防止の為、窓を閉めて活動をしているので体育館に空調設備を整えてほしい。体育館の床が滑りやすいため、定期的なメンテナンスをしてほしい。
2	体育館の天井のあかり窓がまぶしいのでなんとかしてほしい。
3	使い勝手の良い体育館へ改修を希望。

【市の考え方】

勤労青少年ホームは住宅街に位置し、近隣住宅の皆様への配慮が必要な施設となっています。

体育館床については、定期的なメンテナンスを実施し、安全に使用できる状態を保つとともに、ご意見を参考に、より安全で使いやすい体育館となるよう検討します。

(6) 予約開始時期、利用料金等について (3件)

1	予約開始日が遅く、年間の実施予定が立てにくい。
2	利用料金を検討する余地があると思う。
3	機能統合後も勤労者団体の優先利用を維持してほしい。

【市の考え方】

拠点と定める施設については、優先団体の区分や予約開始日、利用料金等について検討します。

(7) ユニバーサルデザイン化等について (14件) ※類似意見を集約

1	トイレの洋式化、トイレ増設
2	エレベーターの設置希望
3	ユニバーサルデザインに基づいたどんな人にも優しい施設に
4	車いす用の駐車スペース設置希望
5	エアコン設置

6	感染症対策のために自動水栓化
---	----------------

【市の考え方】

機能統合の際は、ユニバーサルデザインに配慮した施設となるよう改修工事の内容を検討します。

(8) その他（施設の改修に関すること）（7件）

1	勤労青少年ホームの場合、道路が狭く車での移動が心配。駐車場から出る際、一方通行で信号もないため、混雑時は大変。バス停からの道も狭く、荷物を持参するので危険。
2	勤労青少年ホームの美術工芸室の作業工作台が合板のため、彫刻作業がしにくい。無垢板に交換してほしい。
3	勤労青少年ホームのホールのピアノが古く、足車が故障している。新しいピアノに交換してほしい。
4	勤労青少年ホームのロッカーの広さ、水回り設備などの改善・改修が必要。
5	勤労青少年ホームの施設案内看板の整備を希望。
6	施設改修中も建物を使いながら改修してほしい。活動を止めてしまうと高齢者は体が動かなくなるため。
7	一般利用はさせてほしい。

【市の考え方】

ご意見、ご要望を参考に、拠点と定める施設については、より利用しやすい施設となるよう検討します。工事内容によっては全館休館となる可能性があります。その場合、休館中の代替施設について、あらためてご案内いたします。

3 その他

説明会資料に関すること（1件）

1	勤労会館が老朽化していて利用率が低いという資料に対して、利用者側から見ると勤労会館も予約が取りづらく（特に土日）、いただいた資料の数字に違和感がある。利用率で比較していたが、施設の用途が異なるため参考にならないのではないか。10月22日19時の説明会の参加者は5名。コロナで施設利用を控えている方もいるはず。情報がいきわたっているのか。説明会の中で「勤労会館の利用率改善に努めた」という内容があったが、どのような対策があったのか利用者側からは分からなかった。勤労会館を勤労青少年ホームに統合するという前提で驚愕している。
---	--

【市の考え方】

今回の説明会の開催周知については、施設への掲示や市HP掲載のほか、2施設の全ての登録団体50団体及び一般利用342団体に案内通知を発送しました。説明会動画については、7日間公開し、122回の視聴がありました。

勤労会館は指定管理者制度を導入し、指定管理者が民間ノウハウをもとに運営にあたっており、23会議室にWi-Fiを導入する等の改善により、稼働率の向上に努めてきました。こうした取組について、毎年行われる施設運営の評価では「指定管理者は、当施設の運営に慣れている一方で、前例踏襲となっており、改善に取り組む姿勢に乏しい面もある。」と評価され、2020年度（令和2年度）においては、経年劣化により不具合があった会議室の机を更新したり、勤労会館の魅力を発信するためにSNSを活用した広報を実施する等の改善を行いました。

しかしながら、人口減少をはじめとする浜松市をとりまく課題に対応し、将来にわたり、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財政運営を両立するため、公共施設のあり方を検討するなかで、勤労会館と勤労青少年ホームの機能統合を検討するものです。